

報道機関各位

「鴛泊港本港地区島防波堤災害復旧事業」が

全建賞を受賞しました

一般社団法人全日本建設技術協会では、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するため、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備等に対して表彰しており、この度、「鴛泊港本港地区島防波堤災害復旧事業」が、災害の早期復旧に寄与したとして全建賞を受賞しましたので、お知らせします。

6月25日（火）に東京都内で開催された表彰式において、北海道開発局稚内開発建設部稚内港湾事務所に対して全建賞が授与されました。（別紙参照）

「鴛泊港本港地区島防波堤災害復旧事業」は、平成27年1月に北海道付近を通過した低気圧に伴う高波により鴛泊港本港地区島防波堤が被災したため、その復旧工事を実施したものです。

本事業は、早期復旧が求められるなかで、マルチビームソナーによる被災状況の詳細把握や潜水調査によるケーソンの損傷状況調査を行った上で復旧方針を策定した点や、半没水したケーソンの浮上に当たって止水壁や円筒型浮上蓋の採用など、既存技術の創意工夫によりコスト縮減や作業効率向上を図った点が評価されました。

※「全建賞」とは

「一般社団法人全日本建設技術協会」（東京都港区赤坂）が行う表彰で、「優れた建設技術の創意工夫をこらした活用並びに事業の進め方やインフラの運用の工夫等により、秀でた成果の得られた、もしくは得ようとする事業又は施策、および国民の安全・安心確保に資する等の社会貢献活動や公共事業全般に対する理解の向上等に貢献する事業又は施策を選考し、これを実施した機関」に授与されるものです。

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

築港課 課長 高橋 啓司

上席築港専門官 木口 輝（電話 0162-33-1160）

稚内港湾事務所 第3工務課 課長 大黒 俊一（電話 0162-33-2758）

稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>



稚内開発建設部稚内港湾事務所が実施した「鴛泊港本港地区島防波堤災害復旧事業」が評価され、一般社団法人全日本建設技術協会から「全建賞」を受賞しました。

【事業の概要】

- ・鴛泊港島防波堤は、平成27年1月7日から8日にかけて北海道付近を通過した低気圧に伴う高波により、全長150mの内、約45mに亘り、ケーソン2函が被災しました。
- ・島防波堤は、鴛泊港の航路や泊地の静穏度を確保し、船舶を安全に航行・係留させるための重要な施設であることから、早急な復旧が必要とされました。
- ・工事実施に当たっては、短期間で復旧するとともにコスト縮減を図ることを念頭に復旧工事を行い、平成30年1月に完了しました。



賞状と盾



表彰式の様子
令和元年6月25日(火)

【評価のポイント】

本事業は、早期復旧が求められるなかで、マルチビームソナーによる被災状況の詳細把握や潜水調査によるケーソンの損傷状況調査を行った上で撤去・再利用の復旧方針を策定した点や、半没水したケーソンの浮上に当たって止水壁や円筒型浮上蓋の採用など既存技術の創意工夫によりコスト縮減や作業効率向上を図った点が評価されました。